

授業科目名 <英訳>		交絡調整の方法 Intermediate Biostatistics		担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 佐藤 俊哉 厚生労働省 森 和彦					
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 後期	曜時限	火2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
<p>前期コア科目である「医療統計学」で学んだ医療統計学の考え方を実践するための、具体的な統計的方法について講義します。</p> <p>疫学研究などの観察研究によって因果関係を調べる際、妨げとなる「交絡」を調整する方法として、層別解析、回帰モデル、生存時間解析などのデータ解析の方法を説明するとともに、データ解析を実施する上で必要となる「解析計画」、解析計画を立てる上で必須の「研究計画」についての留意点をとり上げます。「医療統計学」よりもやや専門的な内容が増えますが、具体例を示しながら基本的な考え方を中心に講義します。</p> <p>履修条件に注意してください。</p> <p>【パワーポイントスライドによる講義形式】</p>											
[到達目標]											
<ul style="list-style-type: none"> ・交絡について理解し、それを正しく説明できる ・交絡調整における層別解析と回帰モデルの意義を理解する ・層別解析と回帰モデルの利点・欠点を説明できる ・研究計画書、解析計画書の重要性を説明できる 											
[授業計画と内容]											
第1回 10月4日 交絡の復習と標準化 第2回 10月11日 共通効果の推定 第3回 10月18日 平均値の比較 第4回 10月25日 回帰モデル入門、第1回ミニテスト 11月1日 休講 第5回 11月8日 一般化線形モデル 第6回 11月15日 生存時間解析1 第7回 11月22日 生存時間解析2 第8回 11月29日 欠測データへの対処、第2回ミニテスト 第9回 12月6日 研究計画書の作成 第10回 12月13日 医薬品の審査と市販後安全対策（森先生） （第10回のみ13:00から14:30、セミナー室A） 第11回 12月20日 解析計画書の実際 第12回 1月10日 変数選択、第3回ミニテスト 第13回 1月17日 上級者の交絡調整の方法 第14回 1月24日 解析計画ディスカッション											
----- 交絡調整の方法(2)へ続く ↓↓↓ -----											

交絡調整の方法(2)

[履修要件]

- ・前期コア科目「医療統計学」を履修済みであること
- ・人間健康科学系専攻の学生さんの受け入れはしていません

[成績評価の方法・観点及び達成度]

3回のミニテスト

[教科書]

『医療統計学 配布資料』

[参考書等]

(参考書)

Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. 『Modern Epidemiology, 3rd ed.』 (Lippincott Williams & Wilkins, 2008.)

[授業外学習（予習・復習）等]

前期コア科目「医療統計学」

(その他（オフィスアワー等）)

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。